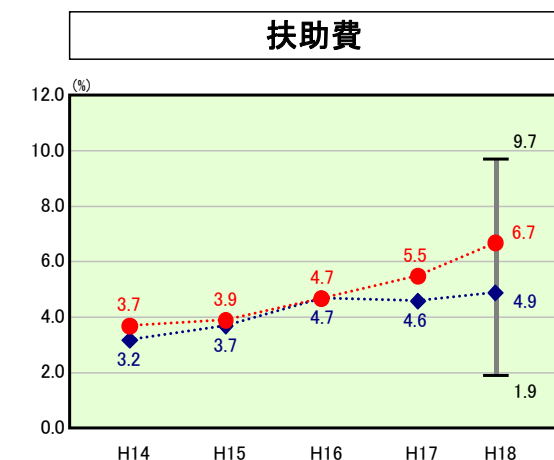
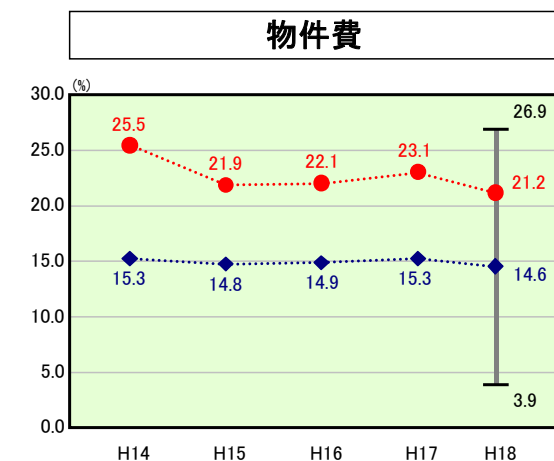
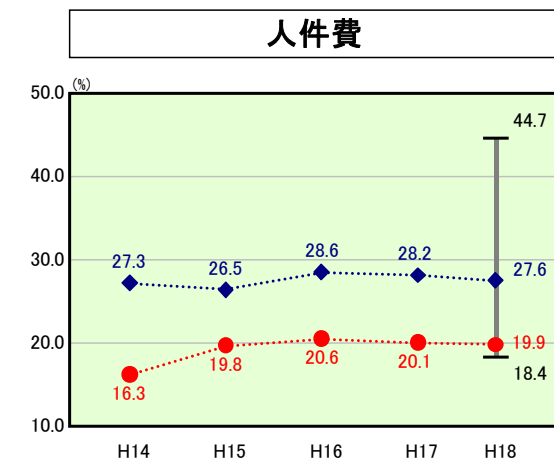
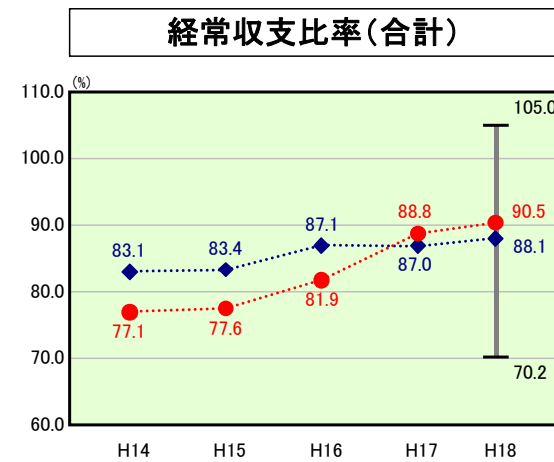
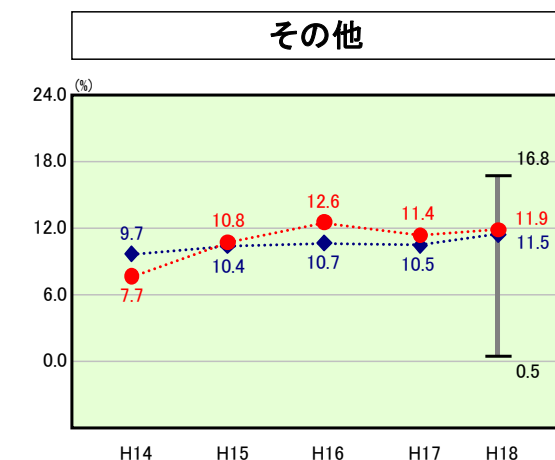
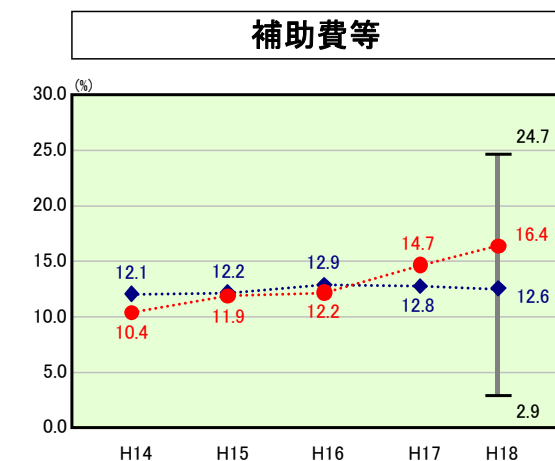
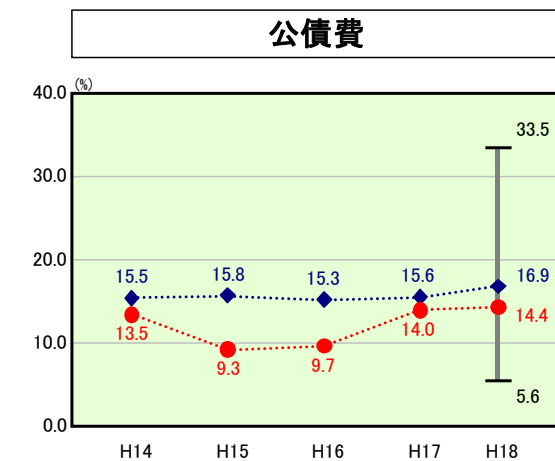
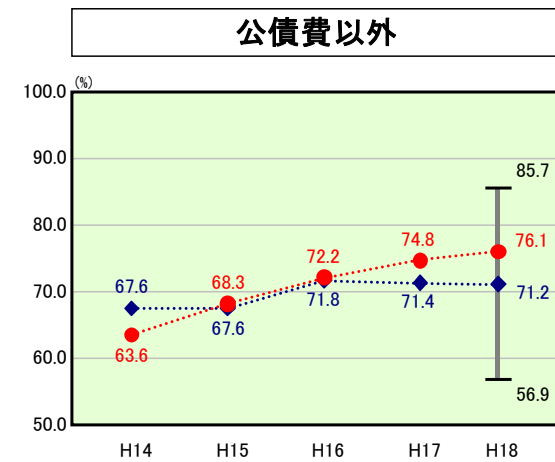
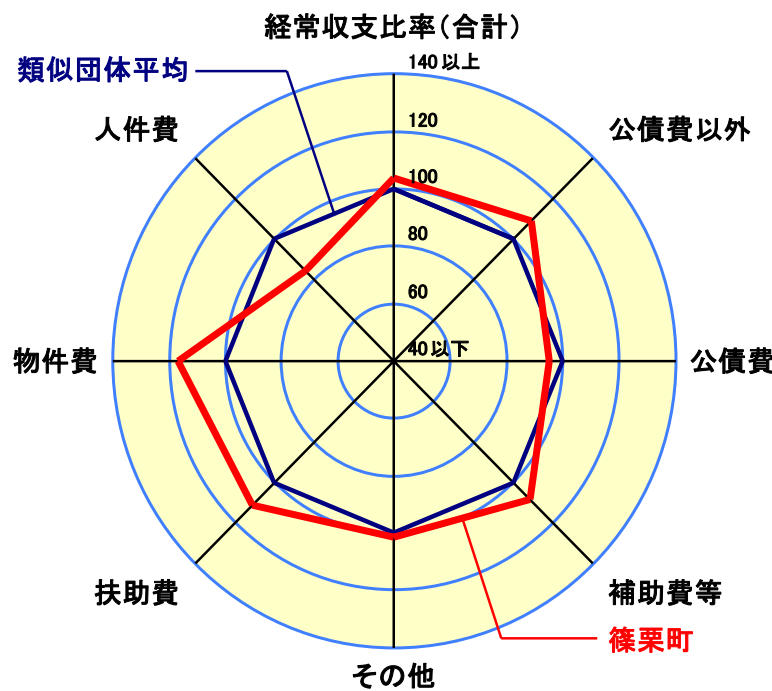


# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	31,247人(H19.3.31現在)
面積	38.90 km <sup>2</sup>
歳入総額	8,391,532千円
歳出総額	7,926,185千円
実質収支	440,167千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

○**人件費** 平成14年度当初の職員数182名に対し、平成20年度当初は164名となる見込みで、約10%の削減をおこなった。さらに手当の支給率見直しや廃止などを行い、給与水準の適正化に努めた結果、歳出に占める人件費の割合は低い水準である。今後は指定管理制度の導入、業務のアウトソーシング、事務事業の見直しなどをおこない一層の効率化に努める。

○**物件費** 物件費に係る経常収支比率が高止まりしているのは、職員人件費等から賃金(物件費)へのシフトが起きていることなどが要因であると考えられる。このことは、人件費の経常収支比率が低いことに現れている。今後は人件費の項目で述べた業務形態や事務事業の見直しを行い、より効率的な運営を目指していく。

○**扶助費** 扶助費に係る経常収支比率は上昇傾向にあり、平成17、18年度は類似団体平均を上回っている。近年上昇傾向にある要因として、主に障害者対策、年少者対策の充実を図っていることが影響している。今後とも必要な対策を維持しつつ、適正かつ効率的なサービス提供を推進する。

○**補助費等** 補助費等が近年上昇傾向にある要因は、負担金・寄付金のうち一部事務組合に対するもの増加が主な原因である。これは清掃施設組合や消防署の建設費用に充てる元利償還分の負担であり、今後とも義務的に発生する経費である。各種団体に対する補助交付金については、補助金交付の適正化について、明確な基準を設定するなどにより、必要性が低くなった補助金の廃止や見直しを図る。

○**公債費** 平成11年度から13年度にかけて、各種のインフラ整備を集中的におこなった。これにともなう公債費の償還は毎年度増加しており、平成21年度をピークとして平成26年度までほぼ同水準で推移する見込みであり、財政運営のうえで公債費が占める割合は今まで以上に増加することが見込まれる。このため、今後の建設事業など起債を伴う事業の実施にあたっては、必要性、緊急性を吟味し、抑制する方針を堅持するとともに、繰上償還にも可能な限り取り組む。

○**公債費以外** 平成16年度まで類似団体平均程度の水準で推移していたが、平成17、18年度では類似団体平均を上回っている。主な要因としては、歳入における自主財源の増加割合に対し、歳出の増加割合が上回ったことが原因であり、具体的には清掃施設組合への負担金の増加と扶助費の増加が大きかったことが経常収支比率の上昇に影響した。今後は負担金、繰上金等が増加傾向で推移する見込みであるため、各費目の歳出削減を推進しつつ、自主財源の増加に取り組む。

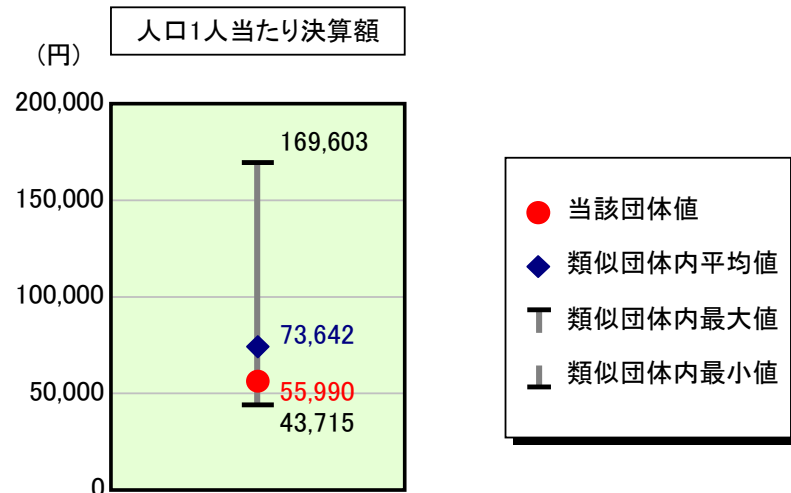
○**普通建設事業費** 平成14年度から16年度まで普通建設事業費の人口1人当たり決算額は類似団体平均を上回る額で推移したが、これは主に国の経済対策による起債を活用し、各種施設を集中的に整備したことによる。本町では年少者も含め人口が増加基調にあるため、平成17、18年度では老朽化していた児童館の建設及び小学校給食施設の更新をおこなったがそれ以外の建設事業は抑制したため大幅に減少している。今後は、児童・生徒数の増加が見込まれるため、義務教育施設の整備や、既存のインフラ施設などの維持工事を中心に必要最小限の事業を行っていく。

○**その他** その他に係る経常収支比率は類似団体平均とほぼ同水準で推移してきたが、繰上金については、下水道施設建設費分の元利償還に充てる繰上金が増加していく見込みである。また、国民健康保険事業特別会計においては、平成18年度に赤字補てんの繰上金を実施しており、これからも継続的に発生する可能性が高い。今後、下水道事業においては、効率的な維持に努めるとともに料金設定も含めた総合的な検討が必要である。また国民健康保険事業特別会計は後期高齢者医療保険制度導入の影響を見ながら保険料の見直しや徴収率の向上に努め、受益者負担の原則に基づき一般会計からの繰上金を縮小していく必要がある。

# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 篠栗町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



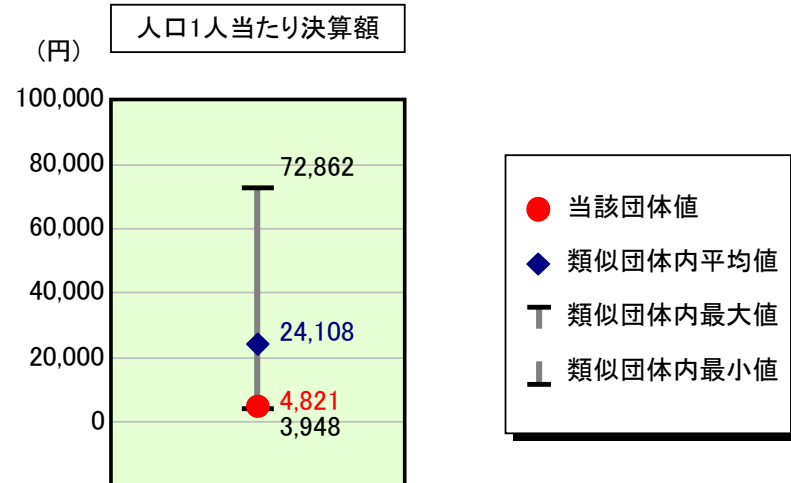
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	1,331,644	42,617	62,819	▲ 32.2
賃金(物件費)	202,117	6,468	4,087	58.3
一部事務組合負担金(補助費等)	215,446	6,895	7,782	▲ 11.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	155	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	109,182	3,494	3,100	12.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	7,633	244	1,338	▲ 81.8
▲退職金	▲ 116,510	▲ 3,729	▲ 5,638	▲ 33.9
合計	1,749,512	55,990	73,642	▲ 24.0

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	4.29	7.08	▲ 2.79
ラスパイレス指数	93.4	95.6	▲ 2.2

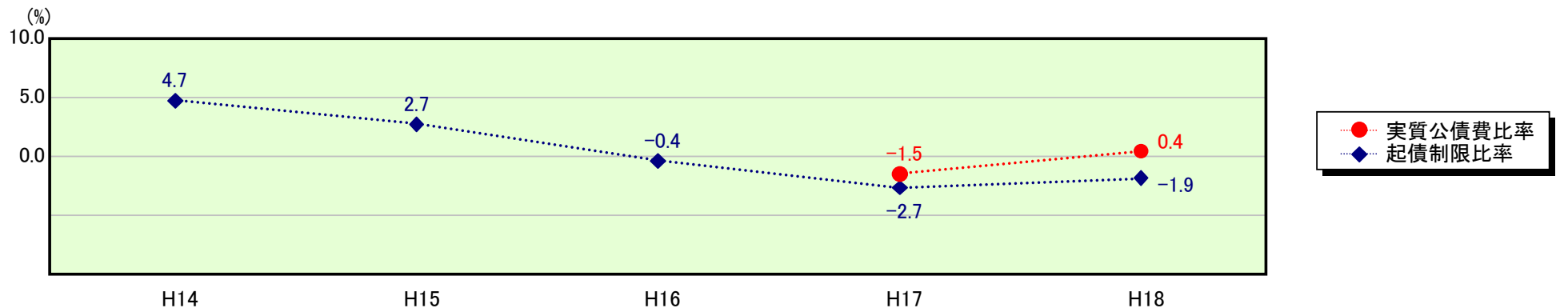
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

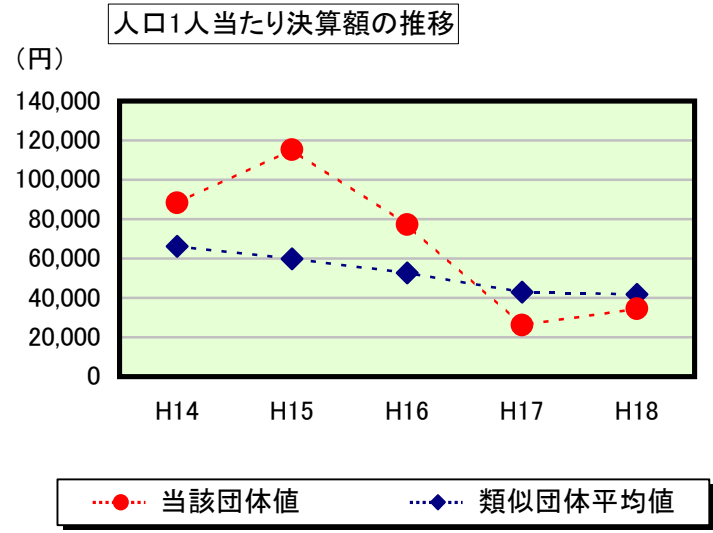
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	871,790	27,900	35,094	▲ 20.5
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	6	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	214,031	6,850	9,900	▲ 30.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	212,713	6,807	3,982	70.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	52,315	1,674	1,698	▲ 1.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	11	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,200,217	▲ 38,411	▲ 26,583	44.5
合計	150,632	4,821	24,108	▲ 80.0

### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H14	2,664,365	88,359	▲ 23.4	66,183	▲ 4.7	▲ 18.7
うち単独分	2,639,397	87,531	▲ 2.6	45,829	▲ 3.2	0.6
H15	3,545,349	115,341	30.5	59,853	▲ 9.6	40.1
うち単独分	3,490,475	113,556	29.7	38,883	▲ 15.2	44.9
H16	2,392,398	77,236	▲ 33.0	52,737	▲ 11.9	▲ 21.1
うち単独分	2,340,963	75,576	▲ 33.4	35,895	▲ 7.7	▲ 25.7
H17	813,256	26,161	▲ 66.1	42,971	▲ 18.5	▲ 47.6
うち単独分	760,661	24,469	▲ 67.6	27,006	▲ 24.8	▲ 42.8
H18	1,077,605	34,487	31.8	41,759	▲ 2.8	34.6
うち単独分	880,079	28,165	15.1	25,833	▲ 4.3	19.4
過去5年間平均	2,098,595	68,317	▲ 12.0	52,701	▲ 9.5	▲ 2.5
うち単独分	2,022,315	65,859	▲ 11.8	34,689	▲ 11.0	▲ 0.8